



教育委員会だよりのタイトルが変わりました

田川市教育委員会 教育長 こばやし 小林 きよし 清

今回から教育委員会だよりのタイトルを「Wa Wa Wa(わわわ)」に変えました。これは、奇をてらったものではありません。平成5年11月3日、田川市制50周年にあたり生涯学習都市を宣言した際のスローガン「学びあう たがわ 人の輪 心の和」から引用したものです。「私たちは、過去からのつながりの上に存在し、よりよき未来に向かって歩みを進める。」その思いを込めこのタイトルにしました。

さて、今回のコラムは、学校教育から1つ、社会教育から1つご紹介します。

教員の働き方改革にご理解とご協力をお願いします

教員の働き方改革は、教育現場において非常に重要な課題となっています。OECD※1加盟国等で実施したTALIS調査※2で、日本の小中学校教員の1週間あたりの仕事時間は、参加国中最長でした。教員の多くが1日10時間以上働いており、休日出勤も珍しくありません。これが教員の疲弊やメンタルヘルスの悪化、さらには教育の質の低下や教員不足の問題につながっています。多忙な日々を送る教員が、教育の質を保ちながら、持続可能で健康的な働き方を実現するためには、制度改革や意識の変革が不可欠です。

田川市教育委員会では働き方改革を進めるため次のようなことに取り組んでいます。

- ①教育 DX ツール（統合型校務支援ソフトや教師用デジタル教科書等）の活用による事務作業の効率化や授業準備の負担軽減
 - ②電話対応終了時刻の設定
 - ③部活動の指導を地域の専門家や外部コーチに委託することへの検討
 - ④支援員（特別支援・生徒指導）を市独自に配置し、県教育委員会へ教員定数増の要望
- これらは、教員のためだけでなく、子ども一人

ひとりに対するきめ細かな指導が可能になり、未来を担う人材を育てることへの効果も期待されます。教員の働き方改革には、保護者の皆様や地域のご理解とご協力が必要です。学校へのサポートをよろしくお願いいたします。

※1 OECD（経済協力開発機構）とは、経済成長、開発援助、自由かつ多角的な貿易の拡大を目的とする国際機関のことです。パリに本部を置き、カナダ、フランス、ドイツ、イタリア、日本、英国、米国など38か国が加盟しています。

※2 TALIS 調査（国際教員指導環境調査）とは、学校の学習環境と教員の勤務環境に焦点を当てた、OECDの国際調査です。

田川市石炭・歴史博物館に「3Dデジタルツイン※3」を導入しました

田川市石炭・歴史博物館では、従来の物理的な展示空間に加え、インターネットを通じてアクセス可能な「3Dデジタルツイン」を導入しました。「3Dデジタルツイン」は、時間や場所の制約を超えて、より多くの人々に文化や歴史、芸術を届ける新たな方法です。

このサイトでは石炭記念公園に位置する、二本煙突、竪坑櫓、石炭・歴史博物館を高精細かつリアルに再現し、来訪者の皆様にまるで現地にいるかのようなダイナミックな仮想体験を提供しています。

世界的に価値が非常に高いとされている山本作兵衛氏の作品展示室や、馬形埴輪、甲冑形埴輪などもご覧いただくことが可能です。

右の二次元コードからアクセスできますので皆様のお越しをお待ちしています。

※3 3Dデジタルツインとは、現実にある構造物を仮想空間でリアルに再現する技術のことです。



たがわトコナツKIDSを 開催しました!!

夏休み子ども体験学習事業として市内の小学生を対象としたたがわトコナツ KIDS を全5回開催しました(5・6年生1回、1～4年生4回)。

参加した子どもたちは、オリジナルキーホルダー作りや木工工作を楽しんだり、人権学習や英語を使ったレクリエーションを通して他校・他学年の児童と交流したりして、充実した一日を過ごしました。



親と子のとうげい教室

6月30日、「親と子のとうげい教室」が、田川市民会館で開かれました。

同教室は、よりよい親子関係づくりのきっかけになればという思いで、田川市子ども会育成会連絡協議会(岡部裕寛会長)の主催により無双窯(田川郡糸田町)の長末修次先生の協力のもと開催されました。この日は、市内の子どもとその保護者25組(約60名)が参加し、普段体験することの少ない陶芸を通してものづくりの楽しさと難しさを、親子で共有することができました。



応急手当普及員講習を 実施しました

8月7日(水)に、田川地区消防本部警防課の中島さんと大塚さんを講師としてお招きし、小学校の教員を対象に、応急手当普及員講習を実施しました。

この講習は、受講した教員が救急に必要な応急手当の方法を理解するだけでなく、各校において、普及員として他の教員にレクチャーしたり、高学年の児童を対象に心肺蘇生法等の授業を行ったりすることを目的として実施されました。

当日は、16名(各校2名程度)の教員が参加しました。

「応急手当講習テキスト」を基に応急手当の基礎・基本を学び、実際にAEDを用いた心肺蘇生法の実技に取り組みました。また、先生役と児童役に分かれて、子どもたちへの授業を想定した心肺蘇生法等の模擬授業も行いました。



受講した教員からは、「子ども自身が、いざというときに、『自他の命を守る』方法を知っておくことがとても大切だと思った。授業を通して、しっかりと子どもたちに伝えていきたい。」「事故が起きないようにすることが第一だが、事故が起きてしまった時のことを想定して、自分たちができることを知り、やっておくことが、一人でも多くの命を救うことになると思う。今日の学びを、自分だけのものにするのではなく、子どもたちの学びへとつないでいきたい。」などの感想がありました。

不慮の事故は起きてほしくありませんが、もし起きてしまった時に、対応の仕方を「知っている」と「知らない」とでは、命を救うという点において重要なポイントになります。今後、子どもたちが自ら自他の命を守る行動をとることができるよう、しっかりと取り組んでいきます。





たがわジュニアリーダー 募集中!



たがわジュニアリーダークラブは、田川市子ども会育成会連絡協議会の傘下にある団体で、田川市子ども会や田川市の地域活動に係る事業、地域のイベント等で運営のサポートをしています。

具体的には、「ふれあいスポーツ大会（旧中央球技大会）」や「親と子のフラワーアレンジメント教室」の司会や「子どもカルタ大会」の司会や吟者を担ったり、田川市の地域活動事業である「トコナツKIDS」の運営補助をしたりと活動の場は多岐にわたっています。

様々な方と関わりながら数多くの体験ができるため、自分自身の成長にもつながります。みなさんもぜひ、たがわジュニアリーダークラブと一緒に活動しませんか？

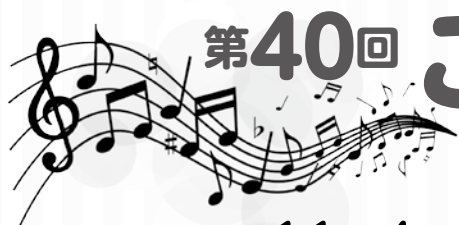
●対象 中学1年生以上の方

※詳しくお話を聞いてみたいという方はお気軽にお問合せください。



問い合わせ

田川市文化生涯学習課 学習振興・人権教育係
(田川市民会館内) ☎44-5110



第40回 こども音楽祭 を開催します!

入場無料

日時 令和6年11月4日(月)※振休 12時30分開演、15時30分終演(予定)

会場 田川文化センター 大ホール(平松町3-36)

市内の保育園児や小・中・高・大学生などが、楽器演奏や吹奏楽など日頃の練習の成果を発表します。



今年は、記念すべき40回目の開催です！聴いて歌って奏でて、音楽の力で田川に元気を！

問い合わせ 田川市文化生涯学習課文化係 ☎(直通) 44-5745
☎(代表) 44-2000

これまでの記事につきましては、
ホームページにてカラー版を掲載しています。

